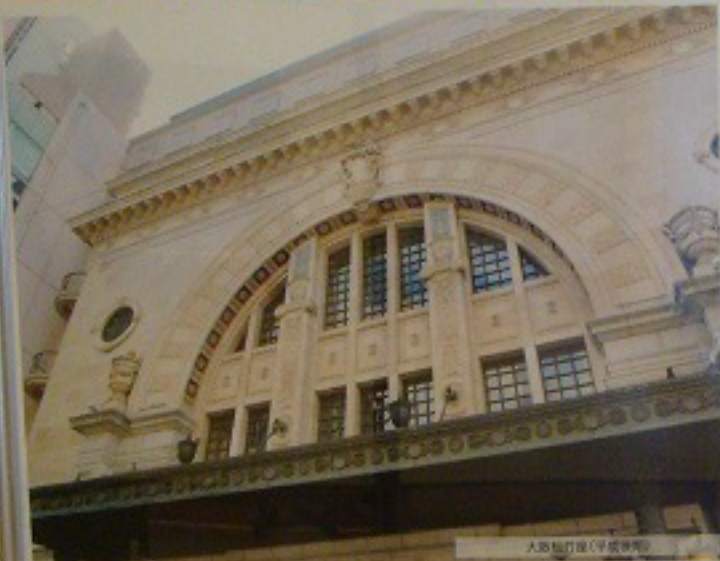
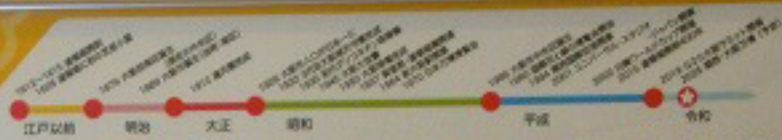


芸能・文化の発展

最寄駅: オオサカメトロ各線 なんば駅・日本橋駅
近鉄電車 大阪難波駅・日本橋駅 / 阪神電車 大阪難波駅 / 南海電車 なんば駅



大阪松竹座(平成後期)

時代とともに新たな文化を発信

大阪松竹座は大正12(1923)年、明治初の洋式劇場として道頓堀に誕生し、平成9(1997)年、建物の正堂全体に広がる優美な装飾レリーフ(浮き彫りまたは浮き彫り細工)をそのまま残し、豪華な装飾のある道頓堀の顔として新築開場しました。

芝居街「道頓堀」の歴史と伝統を受け継ぐ劇場として、今でも歌舞伎や松竹新喜劇をはじめ、歌劇、音楽コンサートなど様々なジャンルのイベントが開催されています。

ミナミ・道頓堀は多彩なジャンルの文化が花開き、いつの時代も人々に愛されてきました。



資料写真(平成後期)

フランスに留学した松岡謙太郎(いんばたかつてる)が、撮影と制作のできる彫刻センターグラフィを立ち上げ、上棟を実現しました。この事実を知った松岡の親戚・小林一三(いんばたけいぞう)が、記念碑を植えました。



資料写真(平成後期)

● お笑い・喜劇の殿堂
日本興業が運営する「なんばグランド花月」では、お笑い・喜劇の公演が行われています。



資料写真(令和元年)

● まちが育む芸能文化
道頓堀川の川辺では芸能文化を堪能できる様々なイベントが1年を通して開催されています。写真は「道頓堀川面舞台」。



資料写真(令和元年)

● 織田作之助文学碑
法善寺横丁の中ほどにある織田作之助の文学碑。代表的な作品「夫婦善哉」のタイトルになったお店がすぐそばにあります。



資料写真(令和元年)

● 日本初、映画興行発祥の地
明治30(1897)年、2月15日から28日まで、南地楽舞場(現・なんばマルイ)で日本初の映画興行が行われました。



資料写真(昭和50年)

● 「三友倶楽部」創業の地
大船町の映画製作会社「三友倶楽部」(現・松竹)のレリーフがあり、「東京のハリウッド・帝国キネマの源流」といわれる同社の歴史が記されています。



資料写真(昭和50年)

● 芝居小屋の並ぶ明治中期の道頓堀
大きなぼりが掲げられた芝居小屋跡を、人や人力車が往来しています。今も昔も変わらない「にぎわいのまち道頓堀」の様子うかがえます。



コラム

織田作之助の文学碑の他にも、道頓堀界隈には古今の芸能文化の碑が点在しています。

流行歌では藤島桓夫「月の法善寺横町」、天童よしみ「道頓堀人情」、録音では平田春一歌謡、川柳では西田百首の川柳舞や岸本水府句碑など、まちを散策しながら、碑めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか。



資料提供: 道頓堀・道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会、道頓堀文化振興会

大阪市中央区役所 企画
中央区魅力発信 / いま わかし にぎわい(再)版

ほかにも月山の情報を掲載した「わがまちガイドナビ」をご覧いただけます

